

表2.2.2.1 照明器具(蛍光灯)

点検項目	点検内容	周期	備考
1.本体	① 反射板、枠の汚損、損傷、さび及び変色の有無並びに取付け状況を点検する。	1Y	
	② ルーバー及び透光性カバーの汚損、破損、変色等の有無を点検する。	1Y	
	③ 管球の異常なちらつき等の有無を点検する。	1Y	
2.部品			
a.安定器	① 点灯時の異常音の有無を点検する。	1Y	
	② 安定器の変形、変色及びさびの有無を点検する。	1Y	
b.ソケット	変形、ぐらつき、ひび割れ、破損等の状況を点検する。	1Y	
c.進相コンデンサ	コンデンサケースの変形、ふくらみ及び漏油の有無を点検する。	1Y	
d.リード線	変色、ひび割れ等の有無を点検する。	1Y	
3.清掃	① 管球及び安定器の交換を行う。	随時	

表2.2.2.2 分電盤・開閉器箱

点検項目	点検内容	周期	備考
1.キャビネット			・動作確認が可能な場合に限る。
a.屋内型	① 盤の取付け状況(支持ボルトの緩み)を確認する。	6M	
	② 汚損、損傷、腐食、脱落、過熱等の有無を点検する。	6M	
	③ 断熱充填物(不燃耐熱シール材)の欠損及び割れの有無を点検する。	6M	
b.屋外型	① 盤の取付け状況(支持ボルトの緩み)を確認する。	6M	
	② 汚損、損傷、腐食、脱落、過熱等の有無を点検する。	6M	
	③ 防水パッキンの劣化状況及びさびの有無を点検する。	6M	
	④ 盤内部の雨水の侵入又は痕跡、結露等の有無を点検する。	6M	
	⑤ 断熱充填物(不燃耐熱シール材)の欠損及び割れの有無を点検する。	6M	
2.導電部			
a.母線・分岐導体・盤内配線支持物等	① 汚損、損傷、腐食、脱落、過熱等の有無を点検する。	6M	
	② 異常音、異臭及び変色の有無を点検する。	6M	
	③ 導電接続部の緩みの有無を点検する。	6M	
b.端子台	変色及び異臭の有無を点検する。	6M	
3.機器			
【遮断器・継電器・電磁接触器・タイマー・リモコン・変圧器等】	① テストボタン(漏電遮断器)による動作の確認を行う。	6M	
	② 各機器の異常音、異臭、変色及び過熱の有無を点検する。	6M	
	③ 点検時を除き非常用ブレーカーがON(入)になっていることを確認する。	6M	
4.絶縁抵抗	絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。	1Y	
5.接地抵抗	単独接地極の場合は、接地抵抗を測定し、その良否を確認する。	1Y	

表2.2.2.3 制御盤

点検項目	点検内容	周期	備考
1.キャビネット	3.2.2「分電盤・開閉器箱」の当該事項による。なお、フィルターがある場合は、目詰まりを点検する。	1Y	・動作確認が可能な場合に限る。
2.導電部	3.2.2「分電盤・開閉器箱」の当該事項による。		
3.機器・制御回路			
a.遮断器・電磁接触器・継電器・端子台・制御スイッチ・計器・変流器・インバータ・表示灯・進相コンデンサ・ヒューズ類	① テストボタン(漏電遮断器)による動作確認を行う。 ② 異常音、発熱、異臭、変色等の有無を点検する。 ③ 機器の取付け状態の良否を点検する。 ④ 単位装置ごとに試験運転を行い運転電流を確認する。 ⑤ 換気扇の回転状態及び異常音の有無を点検する。また、ファン部のごみの付着、汚損等の有無を点検する。 ⑥ 液面電極、レベルスイッチ等の状態を点検する。	6M 6M 6M 6M 6M	
b.制御回路	① 自動、連動運転等のシステム運転の確認を行う。 ② 警報装置の動作確認を行う。 ③ 液面継電器の動作確認を行う。	1Y 1Y 1Y	
4.絶縁抵抗	絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。	1Y	
5.接地抵抗	単独接地極の場合は、接地抵抗を測定し、その良否を確認する。	1Y	

表2.2.2.4 幹線

点検項目	点検内容	周期	備考
1.ケーブル等の配線	① ケーブル被覆材、支持材及び端子部の損傷、腐食、過熱等の異常の有無を点検する。 ② 端子部及び分岐接続部の緩み等を点検する。 ③ ケーブル支持材(結束材を含む)の緩み等の有無を点検する。 ④ 垂直幹線の最上部の支持状態を点検する。	1Y 1Y 1Y 1Y	
2.ケーブルラック・配管	ケーブルラック及び配管の変形、損傷、腐食等の有無を点検する。	1Y	
3.絶縁抵抗	絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。	1Y	

表2.2.3.1 配電盤等(内部機器を除く)

点検項目	点検内容	周期	備考
1.電気室	① 小動物が侵入するおそれのある開口部の有無を点検する。 ② 取扱者以外の者の立入禁止措置が行われていることを確認する。 ③ 室内温度及び湿度の測定を行い、その良否を点検する。 ④ 室内整理状況の良否を点検する。 ⑤ 点検及び操作上必要な照度が確保されているかを確認する。 ⑥ 保守点検に必要な通路が確保されているかを確認する。 ⑦ 電気室の用途以外に使用されていないかを確認する。	1Y 1Y 1Y 1Y 1Y 1Y 1Y	
2.配電盤	① 配電盤の据付け状態、損傷、さび、腐食、変色等の有無を点検する。	1Y	
a.盤外観	② 盤内への漏水又は痕跡及び小動物が侵入するおそれのある開口部の有無を点検する。	1Y	

b.開放形母線・閉鎖形盤内部 【各機器を除く】	③ 点検扉の開閉の良否及び施錠の有無を点検する。	1Y	
	④ 開放形の場合は、パイプフレーム等の据付け状況の良否及び締付けボルトの緩みの有無を点検する。	1Y	
	⑤ 操作レバー・ボタン、切替スイッチ等の機器破損及び機器取付け状況の良否を点検する。	1Y	
	① 内部の床上、機器仕切板等の清掃を行う。	1Y	
	② 母線、支持碍子類、絶縁隔離板等の損傷、過熱、さび、変形、汚損、変色等の有無を点検する。	1Y	
	③ 機器の取付け及び配線接続状況の良否を点検する。	1Y	
	④ 接地線の損傷、断線及び端子接続部の緩みの有無を点検する。	1Y	
	⑤ 制御回路の断線及び端子接続部の緩みの有無を点検する。	1Y	
	⑥ 配線符号(マークキャップ、端子番号等)の損傷及び脱落の有無を点検する。	1Y	
	⑦ 盤内照明の点灯及び換気扇の作動の良否を点検する。	1Y	
3.外部配線			
a.ケーブル等の配線	3.2.4「幹線」の当該事項による。	1Y	
b.ケーブルラック・配管	3.2.4「幹線」の当該事項による。	1Y	
4.絶縁抵抗	絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。	1Y	
5.接地抵抗	接地端子盤等において各種接地抵抗を測定し、その良否を確認する。	1Y	

表2.2.3.2 変圧器

点検項目	点検内容	周期	備考
1.モールド変圧器	① 機器外面の汚損、損傷、過熱、さび、腐食、変形、変色、異常音等の有無を点検する。	1Y	
	② 本体の取付け状態及び配線接続状態の良否を点検する。また、防振装置を有するものは、その劣化の有無を点検する。	1Y	
	③ 接地線の損傷、断線及び端子接続部の緩みの有無を点検する。	1Y	
	④ ダイヤル温度計の損傷(パッキン導管)の有無及び指示値の良否を確認する。	1Y	
	⑤ タップ切換器の破損、変色等の有無を点検する。	1Y	
	⑥ 絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。	1Y	
	⑦ 巻線の過熱変色及びヨークコア鉄板の飛び出しの異常の有無を点検する。	1Y	
2.油入変圧器	1.「モールド変圧器」①から⑦によるほか、次による。		
	① 油面計により、油量の良否を確認する。	1Y	
	② 放圧装置の外面の汚れ、損傷等の有無を点検する。	1Y	
	③ 油劣化防止装置(吸湿呼吸器、コンサーベータ等)の油面計指示値の良否、外面の汚れ、損傷等の有無を点検する。	1Y	
	④ 絶縁油を採取して次の試験を行い、その良否を確認する。 ・絶縁破壊電圧試験(絶縁耐力試験) ・酸価度試験	1Y	
3.特別高圧ガス入変圧器	1.「モールド変圧器」①から⑦によるほか、次による。		
	① ガス配管及び安全弁の汚れ、損傷、さび、腐食等の有無を点検する。	1Y	
	② 圧力計の汚れ、損傷、さび、腐食等の有無を点検する。	1Y	
	③ 密度スイッチ(圧力スイッチ)の動作又は復帰の点検をする。	1Y	

表2.2.3.3 交流遮断器

点検項目	点検内容	周期	備考
真空遮断器	① 機器外面の損傷、過熱、さび、腐食、変形、汚損、変色等の有無を点検する。	1Y	
	② 本体の取付け状態及び配線接続状態の良否を点検する。また、引出形にあっては、出入れ操作の円滑性及び導体接触部の良否を点検する。	1Y	
	③ 接地線の損傷、断線及び端子接続部の緩みの有無を点検する。	1Y	
	④ 遮断器の開閉表示及び開閉動作の良否を点検する。また、動作回数を確認する。	1Y	
	⑤ 制御回路の断線、端子接続部の緩み等の有無を点検する。	1Y	
	⑥ 絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。	1Y	
	⑦ 操作機構部の損傷、変形、さび等の有無を点検する。また、可動軸部及び機構部の劣化グリスを取除き、適量のグリスを注油する。	1Y	

表2.2.3.4 断路器

点検項目	点検内容	周期	備考
断路器	① 機器外面の汚損、損傷、過熱、さび、腐食、変形、変色等の有無を点検する。	1Y	
	② 本体の取付け状態及び配線接続状態の良否を点検する。	1Y	
	③ 接地線の損傷、断線及び端子接続部の緩みの有無を点検する。	1Y	
	④ 接触部の損耗、荒れ等の有無を点検する。	1Y	
	⑤ 開閉器の入・切操作を行い、その良否を点検する。	1Y	
	⑥ 操作機構部の損傷、変形、さび等の有無を点検する。	1Y	
	⑦ 絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。	1Y	

表2.2.3.5 計器用変成器

点検項目	点検内容	周期	備考
計器用変成器	① 機器外面の損傷、過熱、さび、腐食、変形、汚損、変色等の有無を点検する。	1Y	
	② 本体の取付け状態及び配線接続状態の良否を点検する。	1Y	
	③ 接地線の損傷、断線及び端子接続部の緩みの有無を点検する。	1Y	
	④ 制御回路の断線及び端子接続部の緩みの有無を点検する。	1Y	
	⑤ 電線貫通形の変流器は、貫通部のき裂、変色等の有無を点検する。	1Y	
	⑥ 電力ヒューズ付きは、汚損、き裂等の有無を点検する。また、予備ヒューズの確認を行う。	1Y	
	⑦ 絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。	1Y	

表2.2.3.6 避雷器

点検項目	点検内容	周期	備考
避雷器	① 機器外面の汚損、損傷、過熱、さび、腐食、変形、変色、異常音等の有無を点検する。	1Y	
	② 本体の取付け状態及び配線接続状態の良否を点検する。	1Y	
	③ 接地線の損傷、断線及び端子接続部の緩みの有無を点検する。	1Y	
	④ 接地抵抗を測定し、その良否を確認する。	1Y	
	⑤ ギャップレス避雷器の場合、漏れ電流測定を行い、その良否を確認する。	1Y	
		1Y	

表2.2.3.7 高圧負荷開閉器

点検項目	点検内容	周期	備考
1.閉鎖形気中開閉器	① 機器外面の損傷、過熱、さび、腐食、変形、汚損、変色等の有無を点検する。	1Y	
	② 本体の取付け状態及び配線接続状況の良否を点検する。また、引出形は、出し入れ操作の円滑性及び導体接触部の良否	1Y	

2.開放型気中開閉器 【LBS】	を点検する。		
	③ 接地線の損傷、断線及び端子接続部の緩みの有無を点検する。	1Y	
	④ 制御回路部等を有するものは、絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。	1Y	
	⑤ 開閉器の入・切操作を行い、その良否を点検する。	1Y	
	⑥ 絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。	1Y	
	1.「閉鎖形気中開閉器」によるほか、次による。		
	① 接触部の損耗、荒れ等の有無を点検する。	1Y	
	② 電力ヒューズ付きは、汚損、き裂等の有無を点検する。また、予備ヒューズの確認を行う。	1Y	
	③ 操作機構部の損傷、変形、さび等の有無を点検する。	1Y	
	3.真空開閉器		
3.真空開閉器	1.「閉鎖形気中開閉器」によるほか、次による。		
	① 操作機構部の損傷、変形、さび等の有無を点検する。また、可動軸部及び機構部の劣化グリスを取り除き、適量のグリスを注油する。	1Y	
	② 真空バルブ表面の汚れの有無を点検する。	1Y	

表2.2.3.8 高圧カットアウト

点検項目	点検内容	周期	備考
高圧カットアウト	① 機器外面の汚損、損傷、過熱、さび、腐食、変形、変色等の有無を点検する。	1Y	
	② 本体の取付け状態及び配線接続状態の良否を点検する。	1Y	
	③ 接地線の損傷、断線及び端子接続部の緩みの有無を点検する。	1Y	
	④ 接触部の損耗、荒れ等の有無を点検する。	1Y	
	⑤ 開閉器の入・切操作を行い、その良否を点検する。	1Y	
	⑥ 電力ヒューズ付きは、汚損、き裂等の有無を点検する。また、予備ヒューズの確認を行う。	1Y	
	⑦ 絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。	1Y	

表2.2.3.9 高圧磁器接触器

点検項目	点検内容	周期	備考
高圧磁器接触器	① 機器外面の汚損、損傷、過熱、さび、腐食、変形、変色等の有無を点検する。	1Y	
	② 本体の取付け状態及び配線接続状況の良否を点検する。また、引出形は、出入れ操作の円滑性及び導体接触部の良否を点検する。	1Y	
	③ 接地線の損傷、断線及び端子接続部の緩みの有無を点検する。	1Y	
	④ 制御回路の断線及び端子接続部の緩みの有無を点検する。	1Y	
	⑤ 接触器の開閉動作及び開閉表示の良否を点検する。	1Y	
	⑥ 油入形の場合は、油面計により油量が適正であることを確認する。	1Y	
	⑦ 操作機構部の損傷、変形、さび等の有無を点検する。また、可動軸部及び機構部の劣化グリスを取除き、適量のグリスを注油する。	1Y	
	⑧ 内部消弧室、接触子等の異常の有無を点検する。	1Y	

表2.2.3.10 力率改善装置

点検項目	点検内容	周期	備考
力率改善装置 【進相コンデンサ、 直列リアクトル】	① 機器外面の損傷、過熱、さび、腐食、変形、汚損、変色等の有無を点検する。	1Y	
	② コンデンサはケースの腫れを点検する。	1Y	
	② 本体の取付け状態及び配線接続状態の良否を点検する。	1Y	
	③ 接地線の損傷、断線及び端子接続部の緩みの有無を点検する。	1Y	

	④ 絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。	1Y	
--	-----------------------	----	--

表2.2.3.11 指示計器・保護継電器

点検項目	点検内容	周期	備考
指示計器 ・保護継電器	① 機器外面の損傷、過熱、さび、腐食、変形、汚損、変色等の有無を点検する。	1Y	
	② 本体の取付け状態及び配線接続状態の良否を点検する。	1Y	
	③ 接地線の損傷、断線及び端子接続部の緩みの有無を点検する。	1Y	
	④ 制御回路の断線及び端子接続部の緩みの有無を点検する。	1Y	
	⑤ 各指示計器の零点調整を行い、正常に機能していることを確認する。	1Y	
	⑥ 保護継電器の故障検出器を作動させて、警報及び故障表示の確認を行う。	1Y	
	⑦ シーケンス試験（インターロック試験及び保護連動試験）を行う。	1Y	
	⑧ 保護継電器の動作特性試験を行う。		

表2.2.3.12 低圧開閉器類

点検項目	点検内容	周期	備考
低圧開閉器類 【配線用遮断器、漏電遮断器、電磁接触器等】	① 機器外面の損傷、過熱、さび、腐食、変形、汚損、変色等の有無を点検する。	1Y	
	② 本体の取付け状態及び配線接続状態の良否を点検する。	1Y	
	③ 接地線の損傷、断線及び端子接続部の緩みの有無を点検する。	1Y	
	④ 開閉器の開閉動作及び遮断動作の良否を確認する。	1Y	
	⑤ 配線用遮断器等の用途名称が正しいことを確認する。	1Y	

表2.2.4.1 自家発電設備

点検項目	点検内容	周期	備考
1.発電機室	① 小動物が侵入するおそれのある開口部の有無を点検する。	6M	
	② 取扱者以外の者の立入禁止措置が行われていることを確認する。	6M	
	③ 廃油処理が行われていることを確認する。	6M	
	④ 各設備、各機器、建築物等との保有距離が保たれていることを確認する。	6M	
	⑤ 点検上及び使用上障害となる不要物が置かれていないことを確認する。	6M	
2.本体基礎部等	① 共通台板の取付け状況及び基礎ボルトの変形、損傷等の有無を点検する。	6M	
	② 防振装置(防振ゴム、ばね及びストッパ)のひび割れ、変形、損傷及びたわみの異常の有無を点検する。	6M	
	③ 附属機器の取付け状態及び取付けボルトの点検を行う。	1Y	
	④ 原動機と発電機との軸継手部の損傷、緩み等の有無を点検する。また、たわみ軸継手を使用されているものは、緩衝用ゴムの損傷等の有無を点検する。	1Y	
3.原動機 a.ガス機関	① 原動機の据付け状況を点検する。	6M	
	② 各部の汚損、変形等の有無を点検する。	6M	
	③ 機側の各配管等に燃料、冷却水、潤滑油、始動空気等の漏れがないことを確認する。	6M	
	④ クランクケース、過給機、燃料ポンプ、調速機等各部の潤滑油量が適正であることを確認する。	6M	
	⑤ 潤滑油の汚れ及び変質の有無を点検する。	6M	
b.ガスタービン	① 原動機の据付け状況を点検する。	6M	
	② 各部の汚損及び変形の有無を点検する。	6M	
	③ 機側の各配管等に燃料、潤滑油、始動空気等の漏れの有無を点検する。	6M	

4.発電機	① 発電機本体、出力端子保護カバー等の変形、損傷、脱落、腐食等の有無を点検する。	6M	
	② 発電機の巻線部及び導電部周辺に付着したほこり、油脂等による汚損の有無を点検し、乾燥状態にあることを確認する。	6M	
	③ スペースヒータ及び回路の断線、過熱等の有無を点検する。	6M	
	④ 接地線の断線、き裂及び接続部の緩みの有無を点検する。	6M	
5.発電機制御盤類 【発電機盤、自動始動盤、補機盤】			
a.盤本体・内部配線等	① 盤本体、扉、ちょう番、ガラス窓等の損傷、さび、変形、腐食等の有無を点検する。	6M	
	② 主回路及び制御用、操作用、表示用等の配線に腐食、損傷、過熱、ほこりの付着、断線等の有無を点検する。	6M	
	③ 主回路端子部、補機回路端子部、検出部端子等の接続部分及びクランプ類に腐食、損傷及び過熱による変色の有無を点検する。	6M	
	④ 碍子類、その他支持物の腐食、損傷、変形等の有無を点検する。	6M	
	⑤ 接地線の断線、腐食及び接続部の損傷の有無を点検する。	6M	
	⑥ スペースヒータ及び回路の断線、過熱等の有無を点検する。	6M	
b.盤内機器	① 自動電圧調整装置(AVR)の変形、損傷、腐食、ほこりの付着、過熱及び接触不良の有無を点検する。	6M	
	② 交流遮断器は、3.3.3「交流遮断器」の当該事項による。		
	③ 手動断路器は、3.3.4「断路器」の当該事項による。		
	④ 計器用変成器は、3.3.5「計器用変成器」の当該事項による。		
	⑤ 負荷開閉器は、3.3.7「高圧負荷開閉器」の当該事項による。		
	⑥ 指示計器及び保護継電器は、3.3.11「指示計器・保護継電器」の当該事項による。		
	⑦ 配線用遮断器等の開閉器類は、3.3.12「低圧開閉器類」の当該事項による。		
c.制御回路部	① 制御電源スイッチ、自動・手動切替スイッチ、自動始動制御機器等の操作及び取付け状態の良否並びに汚損、破損、腐食、過熱、異常音、異常振動等の有無を点検する。	6M	
	② 補機盤は、次による。 ・補機用電源スイッチ(始動電動機、充電装置、空気圧縮機、室内換気装置、燃料移送ポンプ等)の操作及び取付け状態の良否並びに汚損、破損、腐食、過熱、異常音、異常振動等の有無を点検する。	6M	
6.補機付属装置類			
a.蓄電池設備	① 蓄電池は、3.5.3「蓄電池」による。		
	② 始動回転試験を行い、消防法で定める駆動ができる容量であることを確認する。	6M	
b.燃料槽	① 燃料タンクの貯油量を油面計により点検する。	6M	
	② 燃料タンク、配管及び各種バルブの状態並びに取付けボルトの異常の有無を点検する。	6M	
	③ 燃料タンク用通気金物の引火防止金網の脱落、腐食等の有無を点検する。	6M	
c.燃料移送ポンプ	① ポンプの基礎ボルト及び取付けボルトを点検する。	1Y	
	② 本体及び軸受部分に異常音、異常振動、異常な温度上昇等の有無を点検する。	1Y	
	③ 軸封部分からの漏油の有無を点検する。	1Y	

d.ガス系統付属機器 イ.ガス昇圧機	① 損傷、油漏れ、水漏れ等の有無を点検する。 ② 油量を確認する。 ③ 温度、冷却水流量・温度等を確認し、軸受部の振動の有無を点検する。 ④ 軸封部等の漏れの有無を点検する。	6M 6M 1Y 1Y	
ロ.空燃比制御装置	① 制御機器の作動を確認する。 ② 外観点検を行い、変形、損傷、漏れ、腐食、緩み等の有無を点検する。	1Y 1Y	
ハ.点火装置	点火プラグ・コードを点検する。	6M	
e.換気装置	① 給排気ファン等の据付け状態、回転部及びベルトに緩み、損傷、き裂、異常音、異常振動等の有無を点検する。 ② 軸受部の潤滑油に汚れ、変質、異物の混入等の有無を点検する。	6M 6M	
f.排気装置 イ.消音器	支持金具、緩衝装置等に損傷の有無を点検する。	6M	
ロ.排気管	① 排気管と原動機、可燃物、その他の離隔距離を確認する。 ② 排気伸縮管、排気管及び断熱被覆に変形、脱落、損傷並びにき裂の有無を点検する。 ③ 排気管貫通部の断熱材保護部のめがね石等に変形損傷、脱落及びき裂の有無を点検する。また、排気伸縮管を配管途中に取付けている場合は、貫通部の排気管固定の取付け状態を確認する。 ④ 室外露出部のさび等の有無及び先端部保護網の取付け状態の良否を点検する。	6M 6M 6M 1Y	
g.各種配管	① 配管等の変形、損傷等の有無を点検し、支持金具に緩みがないことを確認する。 ② 配管の取付け部及び接続部からの漏れの有無を点検し、バルブの開閉状態が正常の位置にあることを確認する。 ③ 原動機本体、付属機器及びタンク類との接続部の各種可とう管継手に変形、損傷、漏れ等の有無を点検する。また、ゴム状の可とう管継手を使用している場合は、ひび割れ等のないことを確認する。 ④ 温調弁及び感温部の動作温度が設定値どおりであることを確認する。なお、点検で取外したパッキンは交換する。 ⑤ 冷却水系統及び燃料系統の電磁弁の動作状況を点検する。	6M 6M 6M 1Y 1Y	
7.接地抵抗	① 接地線の断線、腐食等の有無を点検する。 ② 接地線接続部の取付け状態(ボルト、ナットの緩み、損傷等)を点検する。	6M 6M	
8.耐震措置	① ストップ等の偏荷重、溶接部のはがれ等の有無を点検する。 ② 基礎ボルト等の変形、損傷及びナットの緩みの有無を点検し、耐震措置が適正であることを確認する。	6M 6M	
9.運転機能 【試運転】	① 始動タイムスケジュール及びシーケンス(自動動作状況)を確認し、自家発電装置が自動運転待機状態にあることを確認 ② 始動前に自家発電装置の周囲温度、原動機の冷却水及び潤滑油温度を測定する。ただし、ガスタービンは、冷却水の温度測定を除く。また、オイルリング付発電機の場合は、発電機の潤滑油給油口から、内部のオイルリングの作動状況を確認	6M 6M	

10.予備品等	認する。		
	③ 運転中、次の計器類の指示値が規定値内にあることを確認する。 ・電圧 ・周波数 ・回転速度 ・各部温度 ・各部圧力	6M	
	④ 試運転終了後、スイッチ、ハンドル、バルブ等の位置が自動始動運転の待機状態にあることを確認する。	6M	
	① 製造者標準の予備品がそろっていることを確認する。	6M	
	② 設置時の完成図書、特に回路図が保管されていることを確認する。	6M	
	③ 保守工具及び取扱説明書が備えてあることを確認する。	6M	

表2.2.5.2 整流装置

点検項目	点検内容	周期	備考
1.外箱、機器等の外観状況	① 外箱の外観、計器、表示灯、スイッチ等の変形、損傷、汚れ、腐食等の有無を点検する。	6M	
	② 各部品の汚損、損傷、温度上昇、加熱、変色、異常音、異臭等の有無を点検する。	6M	
	③ 固定金具、据付ボルト等の変形、損傷、緩み等の有無を点検する。	1Y	
2.配線、端子	内部配線及び端子部の劣化並びに端子接続部の緩みの有無について点検する。	1Y	

表2.2.5.3 蓄電池

点検項目	点検内容	周期	備考
外観状況	① 全セルについて電槽、ふた、各種栓体、パッキン等に変形、損傷、き裂及び漏液の有無を点検する。なお、触媒栓式シール形蓄電池は、触媒栓の交換時期を確認する。又、据置鉛蓄電池(制御弁式)は、蓄電池の交換時期を確認する。	6M	
	② 封口部のはがれ、き裂等の有無を点検する。	6M	
	③ セルについて、電解液量を確認する。また、減液警報用電極の断全線、腐食、変形等の有無を点検する。	6M	
	④ 架台及び外箱の変形、損傷、腐食等の有無を点検する。	6M	
	⑤ 蓄電池の転倒防止枠、緩衝材、アンカーボルト等の変形及び損傷の有無を点検する。	1Y	
	⑥ 蓄電池端子と配線及び全セルの蓄電池間の接続部の発熱、焼損及び腐食の有無を点検する。	1Y	

表2.2.6.1(A) マルチサイン装置及び出退表示装置

点検項目	点検内容	周期	備考
1.表示部	① 表示面の汚損、損傷等の有無を点検する。	1Y	
	② 各操作スイッチ、表示装置等の動作及び表示灯類の点灯の有無を点検する。	1Y	
	③ 配線接続部(コネクタ及び端子台)の損傷、緩み等の有無を点検する。	1Y	
	④ 固定金具、支持ボルト等の変形、損傷、緩み等の有無を点検する。	1Y	
2.電源部	① 異常音、発熱、異臭、変色等の有無を点検する。	1Y	
	② 各機器の取付け状態の良否を点検する。	1Y	
	③ 電源電圧の測定を行い、その良否を確認する。	1Y	

表2.2.6.1(B) 時刻表示装置(電気時計装置)

点検項目	点検内容	周期	備考
1.親時計	① 据付け状態、汚れ及び著しい損傷の有無を点検する。	1Y	
	② 親時計の各種接点、機構部分、モータ、各スイッチ等の動作機能を確認し、正確な時刻の規正を行う。	1Y	
	③ 電源部の充電状態、電解液面及び規定電圧の調整を行う。	1Y	
	④ 時報器、チャイム、タイマー等の設定時間、動作機能(自動、手動、起動、停止)及び親時計部との時間同調の確認を行う。	1Y	
2.子時計	① 親時計との指示誤差等の調整を行う。	1Y	
	② 取付け状態、汚れ及び著しい損傷の有無を点検する。	1Y	

表2.2.7.1 外灯

点検項目	点検内容	周期	備考
1.灯具	① 外観より、灯具の変形、破損及び腐食の有無を点検する。	1Y	
	② 安定器収納部の浸水又はその痕跡の有無を点検する。	1Y	
2.支持柱	① ポール内蔵の配線用遮断器等及び配線の接続の良否を点検する。	1Y	
	② 沈下、傾斜、倒壊の危険等の有無を点検する。	1Y	
	③ 変形、破損及び腐食の有無を点検する。	1Y	
	④ アンカーボルトの緩み、腐食等の有無及びアンカーボルト周囲のシーリング材の剥離、欠落等の有無を点検する。	1Y	

表2.2.8.1 構内配電線路・構内通信線路

点検項目	点検内容	周期	備考
ハンドホール、マンホール等	① き裂、損傷及び沈下の有無を点検する。	1Y	
	② 周辺地盤の沈下の有無を点検する。	1Y	
	③ 蓋及び金物の取付け状態の良否を点検する。	1Y	
	④ さび、腐食等の劣化の有無を点検する。	1Y	